

発刊にあたって

今日の社会状況をみると、物質中心の考え方への反省が現われて、人間の心の尊重や人間性を重視していかない限り、全てのものが無に帰すのではないか、という考え方が、やっと侵透しはじめてきているように思われます。

そんな背景の中で、人間の生涯にわたる学習の必要性も言われているといっ
てよいでしょう。よい子を育てる、といっても、そこに、環境要素としての文化や社会、人々や自然、家庭のあり方が、すべて、ひっかかっているからです。

狭い視野の中での人間の捉え方で考えられていた時代とちがって、今日では、総合的な広い視野の中で問題を考えなければならないということは、例えば、月面の様子が、眼の前に、居ながらにして見える、という状態によっても明らかです。世界は、ますます、この面では狭くなり、逆に、人間の心の中では、広く捉えられなければならないといえそうです。このことを学習にとっていえば、確かに、私達が、学ばねばならぬものは、無限にあるといっ
てよいでしょう。

社会教育は、市民の皆さまの主体的、自主的な意欲と行動力の中にその多くを負っています。教育委員会（行政）のしごとは、できるだけ、それらの皆さまのおてつだいをすることにあるのですが、まだ、まだ、十分なものにならず、ご面会をおかけしている面が多いわけですが、今後とも、社会教育の充実のために力を注いでいくつもりでおりますので、市民の皆さまの、ご協力を切にお願いいたします。

福生市教育委員会教育長

町 田 倍 二